

学校新聞 芥川

オーストラリア語学研修報告 国際交流推進チーム

7月22日(土) 8月2日(水) オーストラリア語学研修に1年4名、2年9名、引率教員2名で行ってきました。研修のメインはクイーンズランド州ミラニ高校での学校生活体験とミラニ高校生宅でのホームステイです。23日早朝ケアンズに到着し、マツカイへの飛行機の待ち時間の間に植物園や動物園、ビーチを観光しました。マツカイ空港では昨年本校に引率で来られた 先生、先生が出迎えてくださいました。スクールバスでミラニ高校に着くとホストファミリーが出迎えてくださっていました。Welcome BBQのち各家庭へ。8泊9日のホームステイが始まりました。24日(月)には全校集会でそれぞれが英語で自己紹介。学校間の記念品交換では高槻のマスコットキャラクター「はにたん」のぬいぐるみを贈りました。その後、オーストラリア英語を教わったり、ホスト生の授業に参加したりしました。25日(火)はホスト生と共に一日遠足に連れていただきました。見渡す限りサトウキビ畑が広がるミラニですが、そのサトウキビの工場を見学したり、港でフィッシュアンドチップスを食べたり、夕方にはカモノハシが見られる川へ行



つたりしました。26日(水)は日本語のクラスで折り紙を教えたり、ブーメラン作りをしました。28日(金)午後、ミラニ高校のすぐ近くを流れるパイオニア川で体育の先生にカヌーを教わりました。その後グラウンドにテントを張つてのホスト生と一緒にキャンプ。現地は冬なのでしっかりと着込んだり毛布を用意して臨みました。キャンプファイアを囲んで喋ったり、歌ったり、踊ったり。楽しく夜が過ぎました。そして星空観測。くつきり天の川が見える満天の星空のもと、南十字星の探し方を教わったり、天体望遠鏡では、土星の輪や木星の月まで見ることが出来ました。翌朝キャンプ撤収後はホストファミリーとの休日。湖やショッピング、色々な場所に連れて行ってもらったようです。30日(日) Seaforth Beachにホストファミリーに連れられ全員集合。ビーチ・クリケットをしたり、砂の城を作ったり、思い思いに楽しみました。31日(月)朝、多くのホスト生、ホストファミリーに見送られ、涙のお別れ。ケアンズに着いても「ミラニに戻りたい」の声が多く聞かれました。ケアンズで2泊し、グレートバリアリーフのグリーン島に日帰りで行ったりショッピングを楽しんだりしました。毎年行ったり来たりの間柄だからこその温かいもてなしを受け、幸せな12日間でした。来年は迎える側です。今回ホストをしてくださったミラニ高校生の多くが来年日本を訪れる希望を持っています。多くの方に来てもらえるよう、ホストファミリーを引き受けて下さる方を募集しています。詳細は改めてお知らせしますが、日程は来年9月23日〜28日の5泊に決まりました。よろしくお願ひします。



ダンス部2チーム、コンテストで受賞 ダンス部顧問

9月24日(日)高槻自動車教習所にて「TAS」ダンス甲子園が行われ、2年生4チーム、1年生2チーム、文化祭で結成された有志チームの計7チームが参加しました。結果は2年生のBB(ビービー)が特別賞、そして2年生のCharme(シャルム)が3位に入賞しました!



吹奏楽部 夏の活動報告

吹奏楽部顧問

吹奏楽部は、今年度3学年で30名というこれまでに最も多い部員数となり、ますます活発に活動しています。8月には、初めて吹奏楽コンクールに出場しました。30名以下で参加する小編成の部に挑戦し、初出場で優秀賞を獲得することができました。それ以外にも、初めて日吉台地区夏祭りに参加させていただいたり、毎

年恒例の保育園や老人ホーム訪問演奏に行ったりと様々な演奏の場がありました。アンコールをいただくこともあり、とても和やかな雰囲気の中で演奏できました。部員数増加による楽器不足に悩みな方も、あらゆる年代の方に楽しんでいただけるように、日々精一杯頑張っています。



生徒会 約33万円をあしなが育英会に寄付 特別活動指導部

春のあしなが学生募金の集計結果が、あしなが育英会事務局から報告されました。芥川高校生徒会が集めた金額は、4日間の募金活動で三十三万三千五百円でした。これらは全額あしなが育英会に寄付され、国内の遺児らとアフリカの遺児の奨学金に使われます。なお、この寄付額は、大阪の高校の生徒会の中で最高額でした。秋の募金活動は、10月21日・22日・28日・29日の4日間、JR高槻駅西口で行われます。たとえ1時間でも参加可能です。関心のある生徒は、生徒会室まで来てください。

後援会「生徒活動応援費」吹奏楽部に 首席

今年度、後援会に生徒に直接還元される「生徒活動応援費」が設立され、希望する各団体がプレゼンテーションを行いました。その結果、今年度部員が倍増した吹奏楽部に援助されることになりました。今後とも生徒を応援していく活動を進めてまいります、ご協力よろしくお願いいたします。

